



患者 ID : \_\_\_\_\_

施設名 : \_\_\_\_\_

実施医名 : \_\_\_\_\_

手術予定日 : \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

性別 : 男 女 年齢 : \_\_\_\_\_

記入日 : \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

動脈瘤のタイプ : 紡錘状 嚢状

位置	測定値 デバイスを選択するために 使用する値を一覧表に記入	CTテーブルポジション CTフレーム番号または 血管造影画像を明記
----	-------------------------------------	---

## Shema

## 径

	A 中枢側留置位置	mm	
	B Aより1 cm末梢位置	mm	
	C Aより2 cm末梢位置	mm	
	D 動脈瘤最大径	mm	
	E Gより2 cm中枢位置	mm	
	F Gより1 cm中枢位置	mm	
	G 末梢側留置位置	mm	
	H 右総腸骨動脈径	mm	
	I 左総腸骨動脈径	mm	
J 右外腸骨動脈径/大腿動脈径	mm		
K 左外腸骨動脈径/大腿動脈径	mm		

## 長さ

L <sup>1</sup> 中枢ネック長 : 動脈瘤から左鎖骨下動脈までの距離	cm	
L <sup>2</sup> 中枢ネック長 : 動脈瘤から左総頸動脈までの距離	cm	
M 動脈瘤の長さ	cm	
N 末梢ネック長 : 動脈瘤から腹腔動脈起始部までの距離	cm	
O 治療長	cm	

## 角度

P 中枢側の角度	°	
Q 末梢側の角度 (必要な場合)	°	
中枢側ネックに顕著な血栓・石灰化が見られる	はい	いいえ
末梢側ネックに顕著な血栓・石灰化が見られる	はい	いいえ
治療長が10 cmあるいはそれ以下である	はい	いいえ
「はい」の場合、デバイスが留置される両方のネック径は、一つのデバイスでの治療の許容範囲内である	はい	いいえ
左鎖骨下動脈を閉鎖させる予定である	はい	いいえ
「はい」の場合、臨床的にトランスポジションまたはバイパスが必要である	はい	いいえ
治療長が10 cmあるいはそれ以下である	はい	いいえ
「はい」の場合、デバイスが留置される両方のネック径は、一つのデバイスでの治療の許容範囲内である	はい	いいえ

## 推奨するCアームの角度 :

LAO	RAO	°
Cranial	Caudal	°

## Notes

販売名 : コア®CTAG胸部大動脈ステントグラフトシステム 承認番号 : 22500BZX00427000

コア、GORE、アクティブコントロール、ACTIVE CONTROL、TAGおよび記載のデザイン(ロゴ)はW. L. Gore &amp; Associatesの商標です。

© 2022 W. L. Gore &amp; Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 22625808-JA AUGUST 2022

製造元 W. L. Gore &amp; Associates, Inc.

製造販売元 **日本ゴア合同会社**  
メディカル・プロダクツ・ディビジョン〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル  
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 gore.co.jp